

## 令和7年度 第1回多賀町社会教育委員会議

日付	令和7年6月17日(火)
時間	10時00分～12時10分
場所	多賀町中央公民館「多賀結いの森」中会議室
参加者	<p>【出席】田所委員、岸邊委員、豊原委員、松宮委員、船田委員 滝川委員、村山委員、宮野委員</p> <p>【事務局】生涯学習課 竹田課長、本田参事、川分主事</p> <p>【欠席】宮嶋委員</p>

概要
<p><b>【1,開会あいさつ】</b></p> <p>(1) 教育長あいさつ</p> <p>今年度は、第2次生涯学習推進計画前期の最終年度であり来年度から後期計画へ移行する。そのため今年度の社会教育委員会議では後期計画を策定する。策定にあたり、前期計画に基づく各事業の成果や課題を検証する必要がある。その上で、昨今の当町の生涯学習行政の取り組みや委員の皆さんの豊富な見識を踏まえ、さらに充実した社会教育、生涯学習の推進に向けた計画を策定すべく本委員会を進めたい。</p> <p>(2) 各委員あいさつ</p> <p><b>【2,生涯学習課各係の令和7年度事業計画について】</b></p> <p>〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料「生涯学習課所管の生涯学習推進係、生涯学習スポーツ推進係、図書館係、博物館係、文化財係の事業計画」について一括説明。</li> </ul> <p>〔各委員意見、質疑〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料「令和6年度年間集計 公民館利用状況表(部屋別)」より配膳室及び調理実習室の利用に関して、配膳室の「区分：行政関係-その他-件数」の欄が0となっている一方で調理室の同欄は2となっているが、これはなぜか。</li> <li>→〔事務局〕調理実習室と配膳室の貸館では、通常同時に使われているところであるが、これについては、福祉団体が作業のために調理実習室のみを利用したためである。</li> <li>・資料「令和7年度博物館事業計画」より7. 園・学校支援事業、・久徳こども園野外あそび広場と記載されているが、他のこども園を対象とした開催予定はないのか。また、現在久徳うぐいすこども園のみで開催されているその経緯は何か。</li> <li>→〔事務局〕経緯について、この場で回答しかねるので開催予定と併せて後日回答する。(別紙1)</li> </ul>

- ・資料「令和7年度生涯スポーツ係事業計画」より2. 国が推進する部活動の地域移行や地域展開に向けた取り組みの推進について、バスケットボールでは外部指導者の活用が、女子ソフトテニスでは地域団体との連携が進みつつあるという説明があったが、サッカー等他の種目についての進捗状況はどうか。  
→〔事務局〕サッカーについては、現状、中学校にサッカー部はなく今後増やす予定も無いと聞いている。サッカーを含め部活動がなく町外で活動している中学生の支援については、スポーツ少年団等での受け入れができるように協議を進めている。
- ・部活動の地域移行の進捗状況はどうか。  
→〔事務局〕地域移行については、多くの自治体が苦慮している中で、国の方針も変化しており、地域移行から地域連携となっている。国からの補助金の枠組みも狭まってきているなど先行きが不透明な部分もあり、連携が可能なところから慎重に進めたい。
- ・資料「多賀町立図書館 利用実績」より、令和5年度、6年度の貸し出し実績について、コロナ流行後も減少傾向にあるがその要因はなにか。  
→〔事務局〕令和6年度については、移動図書館での貸し出し数が減少したことが挙げられる。その要因としては、園、学校については、個人への貸し出しから団体への貸し出しとなったこと、学童保育については、移動図書館の利用日がお盆と重なり利用者数が例年より少なかったことが挙げられる。

### 【3, 令和7年度の社会教育委員会議の進め方について】

〔事務局〕

- ・資料「令和7年度社会教育委員会について」(1) 概要、(2) 計画、(3) 進め方について一括説明。

### 【4, 第3部主要施策の進捗状況について】

〔事務局〕

- ・資料「推進計画の実施、更新にあたっての課題」について、資料「令和6年度中間事業報告」を踏まえた公民館運営審議会での審議内容を説明。

〔各委員意見、質疑〕

- ・青少年の居場所と活動の場づくりの具体案について、過年度に実施していた森のお菓子屋さん事業をベースに公民館まつりで同様の事業を実施してはどうか。この事業は、町内の小学性を対象に公民館でお菓子をつくり、それをふるさと楽市で販売するというものであり、調理にあたっては町内の個人や団体と連携が望ましいと考える。また、森のお菓子屋さん事業に限らず、新しい事業の実施にあたっては、過年度に実施していた事業を参考にしてはどうか。
- ・学生のニーズを把握し、いつでも来館できる公民館づくりを目指すべきである。

- ・公民館を不登校支援の場として活用もできるのではないか。
- ・小中高生を対象に絵画の講座を実施し、その中で福祉施設と共同で作品を作成できるのではないか。また、絵画の講座に限らず、障害者の生涯学習機会及び社会参加への提供という点では、公民館まつり等の場でも共同でアートを作成することができるのではないか。
- ・公民館を利用しないのは青少年だけではなく、他の世代も同様であると考え。その世代も多賀町民であり、次の世代に繋げる立場ということから、いかに多様な世代が集える場とするかという点も課題としてあげたい。
  - 〔事務局〕小中学生、子育て世代、高齢の方の利用が多い中で、高校生、大学生、子育てが終了した後の働き世代の利用が少ない。そういった世代への呼びかけも必要と考えている。
- ・公民館での事業実施や利用については、平日ではなく休日が多いと感じるが、休日だけでなく平日についても学校機関と連携し、学校事業の窓口となるような公民館事業を展開してはどうか。
- ・住民のニーズに則した事業の実施という点では、いかにニーズを集約できるかが重要であり、その手法について検討するのが重要である。
- ・高齢化が進む当町では、山間部を中心に交通手段を持たない高齢者も多く、今後さらに増加するのではないかと感じる。公民館の利用のためだけに限らず、そういった方の交通の障壁をなくすためにも、公民館には、バスをはじめとした各種交通機関の情報を提供するなど町民の交通の便を向上させる役割を期待する。
- ・社会教育は、学校教育と社会福祉の領域の間に位置するものであり、後期計画策定にあたっての基盤づくりとしては、双方のニーズを把握するなど、隣接領域と連携することも一つの手段である。
- ・生涯学習への参加主体である町民さんが抱える多様なニーズに応え、参加への障壁をなくすためには、アンケートの実施やそのフィードバックが大切であり、その方法についても、いかに効果的に実施できるかを考えなければならない。

#### 【5、社会教育フォーラムについて】

〔事務局〕

- ・資料「第5回 多賀町社会教育フォーラム 開催要項（案）」について説明。
- 〔各委員意見、質疑〕
- ・大滝里づくりネットワークの取組紹介部分について、取組をしている地域おこし協力隊全員に登壇していただくのか、代表者のみとするのか。
    - 〔事務局〕隊員の一人に登壇していただくことを計画している。
    - 〔委員〕多様な取り組みをされているため、隊員の方には複数人で順番に登壇していただく方がよいと考える。また検討していただきたい。
  - ・開催にあたり、開始から終了までの時間及びその配分については、昨年度と同様のものを考えているのか。

→〔事務局〕開始から終了までの時間は同様に計画しているが、その配分については、ワークショップの時間を昨年度より長く設定することを検討している。

- ・フォーラムでは、住民からどのようなニーズを聴きたいか、あらかじめ何点か軸を定めた上で開催に向け計画していただきたい。
- ・前は、平日開催であったので、多様な参加者を確保するという点からも今回は休日の開催としていただきたい。

#### 【6、議事録について】

〔決定事項〕

- ・事務局が作成後、各委員が確認したうえでホームページに公開する。
- ・出席委員の欄は「苗字委員」として、個々の発言については、「委員」と記載する。
- ・口語調ではなく文語調とし、発言内容は要約する。

【閉会】